



市長日記

平和への願いを込めて

6月28日の「安来市戦没者追悼式」に出席しました。

世界では今もなお、多くの人々が武力による争いに傷つき、苦しんでいます。

平和で豊かな社会の実現と、安来市の一層の発展のために努力を重ねていくと、追悼の言葉を述べました。



◀ 献茶・献花を行った後、追悼の言葉を述べました。



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



紹介します
出来事を
まちな話
とびくす

たうんとびくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



鉄に関する幅広いテーマで学ぶ・楽しめることを目的に行われる和鋼博物館公開講座。

今回は包丁研ぎ教室が開催され、日々愛用している包丁を長く使うため、個々に合う研ぎ方を学び、実践しました。
6月17日：和鋼博物館



公共建築賞で優秀賞

▲授賞式は6月16日に広島市で行われ、大久佐明夫副市長が出席し、賞状や盾を受け取りました。

一般社団法人公共建築協会が実施している第18回公共建築賞。全国122点の応募の中から、安来市総合文化ホールアルテピアが「公共建築賞・優秀賞」に選ばれました。

「人口約4万人のまち」の公共施設づくり、市民利用が多い「音楽」を中心に据えたホールづくり、「安来らしい」施設づくりをテーマに、設計者・施工者とともに取り組んできたアルテピア。受賞に際し、市民と連携した施設の活用についても高い評価を得ました。

6月14日に、荒島小学校3年生の児童20人が、久白町の梨畑で二十世紀梨の大袋掛けを体験しました。このイベントは、梨農家の板持浩二さん（久白町）の梨畑で20年ほど前から毎年行っている体験教育活動。参加した児童は、これまでに梨の花の人工受粉と梨の小袋掛けも体験しており、9月には梨の収穫を行う予定です。

板持さんは「私の父の代から続くこの体験学習を通じて、地元の主産業である農業への理解を深めてもらいたい」と話していました。



おいしい梨に育ってね

▲参加した児童は大袋に「おいしくなあれ」などの願いを書いて袋掛けをしました。

楽しく手話をおさらい



▲講師の青木保憲さん(右)と後藤久子さん(左)が、ユーモアを交えて手話を教えていました。

6月25日に、以前に手話を勉強していた人を対象とした「おさらい手話教室」がありました。当日は、簡単なあいさつから自己紹介、指文字でのしりとり、学習した単語を使つての会話など、様々なメニューがあり、参加者は楽しく手話を学びました。

教室に参加した安部香さんは、「手話サークルに入っていますが、手話をやらないと忘れてしまうので、おさらいの意味で参加しました。新しい手話の先生との出会いもあり、新鮮で楽しかったです」と話していました。

改修工事のため6月1日から休館した湯田山荘で、5月31日に「湯田山荘感謝デー」が開催されました。当日は、これまで愛着を持って利用してきた来館者に感謝の意を込めて一律100円での入浴や、入浴付き「ご愛顧感謝定食」が100食限定で販売されるなど、多くの来館者で賑わいました。

秋頃のリニューアルオープンからは新たな指定管理者に引き継ぐことになっており、古澤卓^{まさる}支配人は、「優れた效能を持つ温泉であり、地元のファンも根強いので、未永く続いてほしい」と話していました。



▲当日は演芸の披露もあり、民謡や踊りなどを楽しむことができました。

長年のご愛顧に感謝

6月10日に、吉田川などの環境保全に関する取り組みとして「吉田ほたる祭り」が開催され、環境に関するパネル展示や屋台村を楽しむ人で日暮れ前から賑わいました。

当日は曇って湿度の高いホタル日和。ホタルが活発に活動をする20時～21時頃には、案内のあった川沿いの鑑賞スポットへ向かい、豊かな自然の中で舞うホタルを鑑賞しました。ほたる祭り実行委員の山本純委員長は「多くの人が楽しんでおり、開催したかいがありました」と話していました。



▲南小学校の環境学習で考案し、製作に携わった石けんやたわしの販売もありました。

初夏示すほたる祭り



▲宇都宮さんへ、当日の教室に関連したブロック玩具などがプレゼントされました。

来館者2万人を達成

ガスについて学ぶことができる施設「さんそ学習館ケイオス」。6月3日に来館者が2万人に到達しました。2万人目の来館者は宇都宮梨乃^{りの}さん。当日は水蒸気で動く玩具・ポンポン船を作り動かして、楽しみながら科学の仕組みを学んでいました。

学習館ではガスの他にもさまざまな科学の教室や講演会を開催しています。学習館の浜田拓也館長は「今後も市民の皆さんにより利用してもらえるよう活動していきます。科学に親しみを持つきっかけになることを願っています」と話していました。